

< 一般社団法人 佐賀県作業療法士会 運営会議 議事録 >

日時：平成 25 年 11 月 19 日（火）19：00～21：00

場所：アイスクエアビル 会議室にて

出席：倉富会長、山口副会長、小池副会長、江渡、前田、金子、川辺、原、仙波、佐藤、村岡、米田、鶴田、本山、（14 名）

・ 報告事項

1 . OT 協会関連

1) 作業療法士連盟

「リハビリテーションを考える議員連盟」の設立総会（現状では、自民党議員だけの構成）

- ・ 日時：平成 25 年 11 月 13 日（水）11：00～（60 分ほど）
- ・ 場所：自由民主党本部 101 号室

2 . 九州士会長会関連

1) 第 2 回九州地区作業療法士会士会長会議及び合同士会長会議

- ・ 日時：平成 25 年 11 月 22 日（金）

（ 1 ） OT 九州支部会（15：00～16：50） （ 2 ）九州 PT・OT 合同士会長会議（17：00～19：00）

- ・ 会場：熊本市国際交流会館
- ・ 出席者：倉富・山口副会長
- ・ 合同学会の事務局を設置する案が出ている。

2) 広報戦略会議

- ・ 期日：平成 25 年 10 月 16 日（土）
- ・ 場所：サンライフホテル 2・3（博多駅筑紫口正面 地下鉄東 6 番出入口直結）
- ・ 県士会から上城広報部長・仙波梨沙広報部員参加

3) 九州県士会長主催研修会及び士会長会議（佐賀県が担当）

- ・ 期日：平成 26 年 2 月 8 日・9 日
- ・ 場所：佐賀市（i スクエアビル）

3 . PT・OT・ST 士会合同の訪問リハビリステーション研修会

- ・ 期日及び会場：平成 26 年 2 月 9 日（日）佐賀県医療センター好生館

平成 26 年 2 月 23 日（日）佐賀県医療センター好生館

- ・ 予算：20 万円。PT 会、OT 会、ST 会 6：3：1 の比率で出資。OT 県士会 6 万円
- ・ 当日対応者：実行委員 + 3 名（受付・接待・会場係）
- ・ 懇親会：2 月 8 日 懇親会参加者
- ・ 佐賀県訪問リハ振興会（仮名）を 3 士会で立ち上げ、3 士会認定の上勉強会を開催したい。各士会より 2 名程度代表を設ける。

4．佐賀県在宅生活サポートセンター関連

1) テクノエイド協会 介護ロボット普及啓発事業に応募し、選任を受ける

- ・癒し系ロボット(ぱろ)、排泄自動処理ロボット(マインレット)を佐賀県認知症家族の会、長光園、寿楽園で使用してもらい普及にあたる。
- ・11月6日 普及啓発研修会実施
- ・平成26年1月に市民向け研修会開催予定

2) 介護の日のイベント 11月7日(木) アバンセホールで開催

- ・テーマ:腰痛予防のための移乗介助について考える
- ・県士会より講師として島ノ江寿会員、熊谷隆史会員を派遣

3) 他団体との連携

- ・地域包括支援センター(佐賀市・唐津市・鳥栖市)へ働きかけている。鳥栖市・唐津市はセンター職員と会員の同伴訪問も実施している。
- ・医師会へセンターの活用について働きかけている。今後、医師会会員からの在宅での生活支援のための福祉用具や住宅改修の相談が増えと考えられる。

4) シーティングのエキスパートの育成

- ・12月12日 車いす研修会(一般研修)
- ・2月中旬 シーティングクリニック研修会(センター又はOT士会で開催予定)

5) 佐賀県在宅生活サポートセンター建替え検討委員会

- ・平成27年4月 開設予定で計画中

5．がんり八研修会打ち合わせ会議

- ・11月20日 佐賀大学医学部 倉富出席

6．平成25年度佐賀県介護予防市町支援委員会

- ・1月中旬 開催予定 県健康増進課主催 倉富出席予定

・協議事項

1．OT協会関連

1) 平成26年 WFOOTのスポンサーシップの依頼

- ・ブース展示及び寄付金の依頼 県士会からの寄付金
県士会からも寄付で検討。金額については合同学会時に他県士会からの情報収集を行った上で決定

2．合同学会関連 資料1参照

- ・第36回合同学会(佐賀県士会が担当)
- ・準備委員会での熊本学会視察 11月23日・24日
(OT:倉富・山口・小池・川辺・江渡。PT:小柳・片渕・峰松・大川内・小松)
- ・平成26年11月22日(土)、23日(日)佐賀市民文化会館で実施

3.九州県士会長主催研修会への派遣

- ・期日：平成 26 年 2 月 8 日・9 日
- ・場所：佐賀市

これまでの派遣者等について考慮し、県士会推薦者を決定する

4.セラピストのためのクリニカルクラークシップ研修会

- ・第 15 回研修会 平成 26 年 1 月 12 日（日） 13：00～16：40 熊本総合医療リハ学院で開催
 - ・名義後援依頼あり
- 承認の方向へ

・各部局からの報告

1. 学術局（江渡学術局長より報告）

12 月 21 日に次年度の事業計画会議を予定

協賛金給付規定の確認

一般社団法人 佐賀県作業療法士会 協賛研修 協賛金給付規定 改定（案）

1. 日本作業療法士会が定める SIG に相当する団体である事。
2. 団体に所属する作業療法士が全員日本作業療法士協会及び佐賀県作業療法士会に所属し、且つ年度毎の会費を納めている事。
3. 1、2. を満たす団体に対し、活動資金（協賛金）を提供する。

団体は協賛金の申請時、申請年度の前年度の活動実績、会員名簿、研修会参加者名簿を提出する。

支給額は以下の表の通り

表 協賛金 支給額（案）

年間研修開催数 平均参加者数	6 回未満	6～9 回	10 回以上
10 名以上 30 名未満	0 円	10,000 円	30,000 円
30 名以上	10,000 円	30,000 円	50,000 円

「参加者」とは（一社）佐賀県作業療法士会 会員を指し、他県の協会員は含まない。

4. 上記規定は状況に応じて随時見直しを図る。

本規定は 2013 年 4 月 1 日より適用する（2013 年 1 月 16 日）

本規定は 2013 年 6 月 1 日より一部改定し適用する（2013 年 5 月 日）

* 今年度の申請は 12 月 20 日までに会員の納入確認が出来れば認定の方向へ

2. 教育部（金子副部長より報告）

- ・今年度の現職者共通研修・選択研修が終了

3. 学術部（前田学術副部長より報告）

- ・第 49 回研修会について
- 名義後援依頼の手続き中

4．事務局（川辺事務局長より報告）

（1）会員について

・11月19日現在 会員数 424名 所属施設数 100施設（自宅会員除く）

（2）OT 基礎調査

・返信率現在 6割

老健施設からの返信が極めて不良な状況

（3）H26年度秋の叙勲及び賜杯並びに藍綬褒章候補者の推薦 該当者無し

（4）次年度予算総会

・今年度予算総会単独開催。平日の夜、駐車スペースにゆとりがある施設で実施

5．事業局（小池事業局長より報告）

1）士会員のマニュアル購入数調査および生活行為向上マネジメント啓発フレーズ検討の協力依頼

士会員のマニュアル購入数調査

士会員全体に向けては不明な点も多く、今回は実施しない。関係者のみ希望する場合は11月27日までに事業局長へ連絡

6．事業部（佐藤事業部長より報告）

1）地域包括支援センターとの協業について

8月 唐津地域包括支援センターへ出向き、1/M程度でOTを派遣し、ケアマネとの協業を提案

11月16日 第1回目の訪問。反応も良好

今年度は唐津市で、来年度は佐賀県内2～3カ所の地域包括支援センターに動きを拡げていきたい

2）OT フェスタ

・10月6日(日) ゆめタウン佐賀

・51名の運営スタッフ

・今回はバルーン工作、アニマルハット、着ぐるみの導入やお菓子のつかみ取りなどイベント自体楽しそうだという理由で来場してくれる方が多かった。

・このイベント参加者に関しては、作業療法士の認知度は過半数以上であった。

・今後は来場者に作業療法を説明・アピールする手法を検討する必要がある。

7．福利部（村岡福利部長より報告）

・現在まで280名の会員に配付済

・OT フェスタの際、年会費未納のままTシャツの申し込みあり

8）第15回佐賀県作業療法士学会（鶴田地区担当部長、米田地区担当部長より報告）

・学会特別講演の司会者決定（園田病院 岡野 OT）

・学会の一般演題に関する査読委員内諾済

7) その他

・WFOT 横浜学会 演題発表 会員人口あたり全国8位であった

次回、運営部会 1 / 14 (火) アイスクエアビルにて 19:00～

第 36 回九州理学療法士・作業療法士合同学会

資料 1

準備状況報告

開催概要

会 期：平成 26 年 11 月 22 日（土）～23 日（日）

会 場：佐賀市文化会館（佐賀市日の出 1 丁目 21-10）

収容人数：大ホール 1811、中ホール 814、イベントホール 400、大会議室 130、ほか

駐車場：500 台（無料）

テーマ：『九州発。暮らしを考える ～障がいと生涯を見つめて～』

主 催：公益社団法人 日本理学療法士協会九州ブロック会

一般社団法人 日本作業療法士協会九州各県士会

主 管：公益社団法人 佐賀県理学療法士会

一般社団法人 佐賀県作業療法士会

事務局：介護老人保健施設サンビューさが（佐賀市兵庫南 3 - 8 - 1）

（平成 26 年 6 月に名称変更予定）

【趣意書】

学会長 小柳 伸一郎

この度、第 36 回九州理学療法士・作業療法士合同学会を平成 26 年 11 月 22 日（土）～23 日（日）の 2 日間、佐賀市文化会館にて開催させていただきます。佐賀の地での学会開催は、平成 18 年度第 28 回学会（倉富眞学会長）以来、8 年ぶりとなります。佐賀県の会員のみならず、九州一円の会員のご協力を得ながら、佐賀県らしい学会作りを進めているところであります。

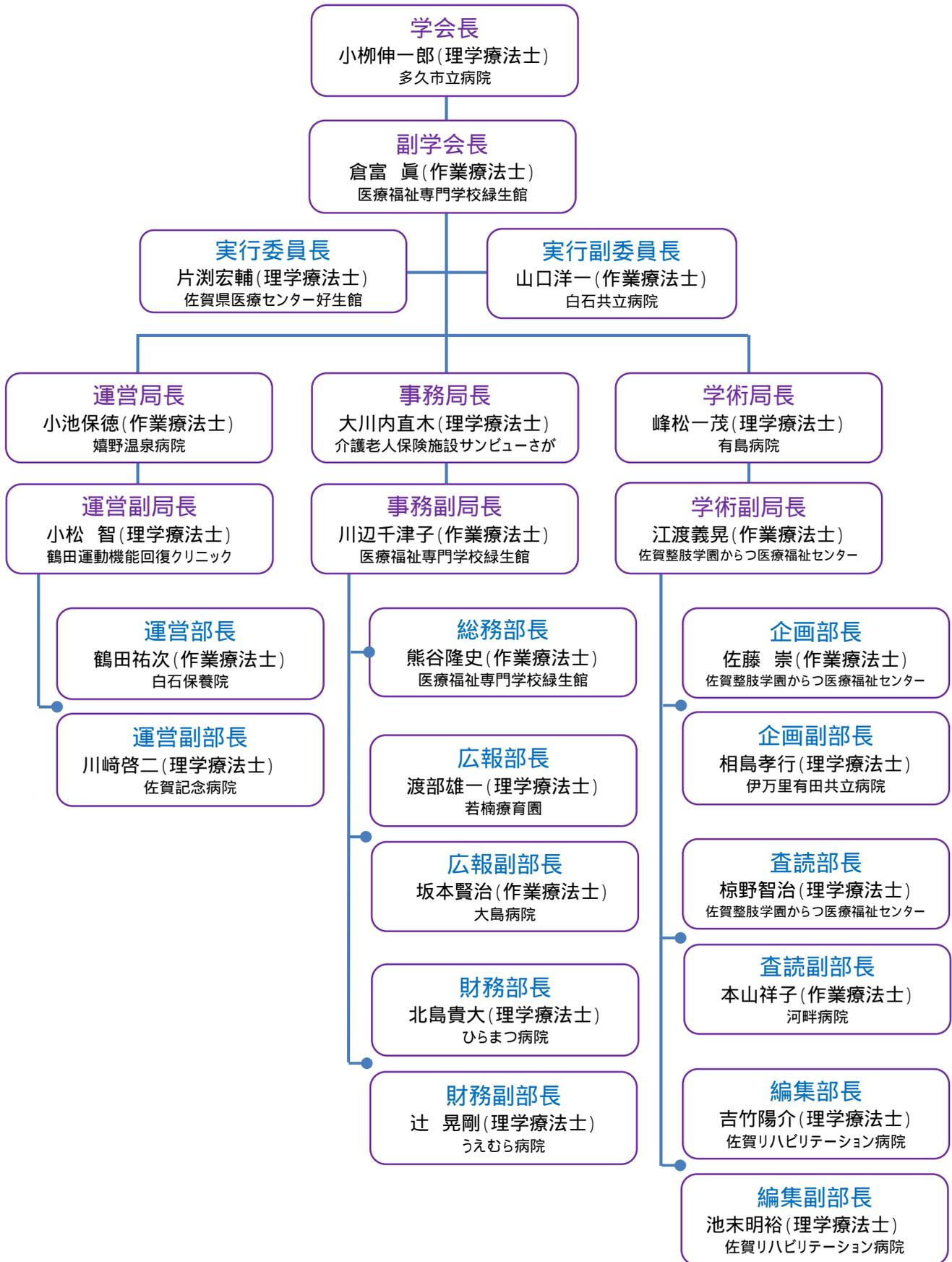
昨今、わが国では急速な少子高齢化が進み、政府は昨年秋、社会保障と税の一体改革を行なうことを決定しました。その中で、2025 年問題として地域包括ケアシステムの構築が検討されています。「病院・施設から在宅・地域へ」このケアシステムの構築の中で我々理学療法士・作業療法士がどのように関わり、どのように貢献できるのかが問われているところです。今後の医療・介護サービスの提供体制の変化に戸惑うことなく、そのシステムを確実に作り上げることが必要となってきています。そのためには、「治す医療」から「治し・支える医療」へ、私たち理学療法士・作業療法士が、専門職として確かな知識・技術、確かな効果・効率を目指した理学療法・作業療法を提供していくことが不可欠です。

今回の学会のテーマを『九州発。暮らしを考える ～障がいと生涯を見つめて～』としました。私たちの活動の場は「予防から終末期」「小児から高齢者」と多岐に渡ります。ただ、どのような活動の場においても共通していることは、いかに「暮らし」を考えるかということです。患者や利用者一人ひとりの暮らしを考えるためには「障がい」と「生涯」をしっかりと見つめていくことが重要になってくると思われます。市民公開講座の中では、障がいがあっても、主体性をもって「地域でくらす」ことについてご講演いただく予定です。

また演題発表とともに、基調講演や教育講演 2 題、セミナー 6 題と、「障がい」と「生涯」について専門的立場から学べる内容も多数企画しております。

今回の学会が理学療法士・作業療法士にとっての「暮らし」と、専門職としての役割を考える機会となることを期待しております。

【組織図】



講演

11月22日(土)

【基調講演】 土井 勝幸 先生 介護老人保健施設せんだんの丘

テーマ：『被災地支援から気付いた自立支援のあり方～地域包括ケアに向けて～』

【教育講演】 森岡 周 先生 畿央大学

テーマ：『神経科学から考える脳卒中リハビリテーション(仮)』

【教育講演】 石井 慎一郎 先生 神奈川県立保健福祉大学

テーマ：『運動器疾患の動作を考える』

【セミナー】 山根 寛 先生 京都大学大学院

テーマ：『精神認知領域の障がいと生活支援(仮)』

【セミナー】 榎勢 道彦 先生 大阪発達総合療育センター

テーマ：『重症児の生活機能の障害とその支援』

11月23日(日)

【セミナー】 山本 伸一 先生 山梨リハビリテーション病院

テーマ：『臨床における生活を意識した支援～脳損傷対象者に対する上肢機能アプローチ～(仮)』

【セミナー】 神津 玲 先生 長崎大学医学部・歯学部附属病院

テーマ：『急性期から回復期における呼吸リハビリテーション(仮)』

【セミナー】 吉尾 雅春 先生 千里リハビリテーション病院

テーマ：『人間としての脳卒中リハビリテーション』

【セミナー】 澤潟 昌樹 先生 船橋市立リハビリテーション病院

テーマ：『住み慣れた地域に帰そう～回復期リハ病棟での取り組み』

【市民公開講座】 長谷川 幹 先生 三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長

テーマ：『障がい者の主体性の再構築に向けて(仮)』